

下水補委第10号

葛巻下水処理場ほか 施設台帳作成業務 委託

仕様書

令和6年3月

見附市上下水道局

設計業務委託仕様総括

本業務を受託した者は、新潟県土木部が定める「測量・設計・調査業務委託標準仕様書」、添付の「特記仕様書」及び設計図書（別冊の設計書及び図面等）により、関係法令を遵守し業務を実施するものとする。

設計業務委託条件総括表

本業務に関連する調査等が生じ、発注者（監督員を含む）から指示があった場合において、受託者は調査等に協力するものとする。

この他、以下の事項に留意して業務を行うものとするが、現時点で不明の点及び業務実施に伴い変更が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

1. 本業務に関連する業務または調整を図る機関について

（1）関連する別途発注業務委託（☐ 以下のとおり ☒ なし）

（2）業務の時間的制限（☐ 以下のとおり ☒ なし）

（3）特別な関係機関協議の必要（☐ 以下のとおり ☒ なし）

（4）その他

2. 本業務実施において貸与する物品について

貸与品（☒ 以下又は別紙特記仕様書のとおり ☐ なし）
標準仕様書「2.5 参考資料の貸与」のとおり

3. 用地（借地）および地元調整等について

（1）用地（借地）・地元調整の未処理箇所（☐ 以下のとおり ☒ なし）

（2）その他

4. 設計条件、設計項目等について

（1）設計に使用する条件（☒ 以下又は別紙特記仕様書のとおり ☐ なし）

（2）設計項目及び設計数量（☒ 以下又は別紙特記仕様書のとおり ☐ なし）

（3）設計にあたり考慮する比較検討案（☐ 案程度）

5. 成果品の納入および納入方法について

（1）報告物品および提出部数

物品名	提出数	仕様等	電子化
報告書	2	横書きとし、A4縦版で製本	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
報告書原稿	—		—
図面	—	報告書に添付	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
図面原図	—		—
図面縮小版	—	A4版(A3二つ折り)で製本、1部報告書に添付	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
図面縮小版原図	—		—
コスト縮減設計留意書	—	必要な場合、別紙特記仕様書参照	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
コスト縮減効果票	—	必要な場合、別紙特記仕様書参照	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
リサイクル計画書	—	必要な場合、別紙特記仕様書参照	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
詳細設計照査	—		<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
設計業務等標準歩掛実態調査	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—

注1）電子化が要の場合、利用するソフトウェア及び、保存する電子媒体について監督職員と協議すること。

注2）詳細設計照査が必要な場合、「詳細設計照査要領（（社）全日本建設技術協会 北陸地方建設局建設技術協会発行）」により実施すること。なお、「主任調査員」及び「調査員」は監督職員を、「総括調査員」は監督職員の上司である課長又は相当職を、「照査技術者」は標準仕様書で定める主任技術者を、「管理技術者」は受託者又はその代理人、若しくは代理人が適当と認める者をそれぞれいう。

(2) 詳細設計等における数量表の作成方法

1) 数量表の作成に当たっては、最新の「新土木工事積算大系」に沿って行うものとする。

2) 数量の表示については、詳細設計等の結果より数量が算出される算出数量と、積算基準〔1 一般土木〕県版（新潟県土木部発行）で明記されている設計数量を作成するものとする※1

(3) その他（特記事項）

6. 設計協議について

本業務においては、次のとおり設計協議を予定している。着手時がある場合において、受託者は契約後速やかに監督員と協議して、協議日程を決定するものとする。

なお、立会い欄に印がある設計協議については、主任技術者が立会うものとする。

打合せ協議	回数	立会い	備考
第1回打合せ	1	<input checked="" type="checkbox"/>	
中間打合せ	2	<input checked="" type="checkbox"/>	
成果品納入時	1	<input checked="" type="checkbox"/>	

※1 数量表作成例

工事区分・工種・種別・細別		単位	算出数量	設計数量	算出根拠
L1	築堤・護岸				
L2	河川土工				
L3	掘削工				
L4	土砂掘削	m3	13,829	13,800	別紙○計算書より
L4	軟岩掘削	m3	523	520	別紙○計算書より
L3	盛土工				
L4	発生土盛土	m3	8,286	8,300	別紙○計算書より
.	.				
.	.				
.	.				

**葛巻下水処理場ほか 施設台帳作成業務 委託
標準仕様書**

第1章 総 則

1.1 業務の目的

下水処理場、ポンプ場等のストックマネジメント実施方針策定を進めるにあたり、小分類単位の施設情報（施設台帳）を整理することを目的とする。

紙ベースの既存資料（当該施設に関連する各種成果品）については、当該資料のスキャニング・電子化を行い、既に一部電子化されている施設情報については、それらを小分類単位に再編集して施設情報の整理を行う。

1.2 一般仕様書の適用範囲

業務は、本仕様書に従い施工しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施工しなければならない。

1.3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1.4 法令等の遵守

受託者は、業務の実施にあたり、関連する法令等を遵守しなければならない。

1.5 中立性の保持

受託者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

1.6 秘密の保持

受託者は、業務の遂行上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

1.7 公益確保の義務

受託者は、業務を行うにあたっては、公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することのないように努めなければならない。

1.8 提出書類

受託者は、業務の着手及び完了にあたって、見附市の契約約款に定めるもののほか、下記の書類を提出しなければならない。

- | | | | |
|---------|---------|--------------|-----------|
| (イ) 着手届 | (ロ) 工程表 | (ハ) 管理技術者届 | (ニ) 職務分担表 |
| (ホ) 完了届 | (ヘ) 納品書 | (ト) 業務委託料請求書 | |

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

1.9 管理技術者及び技術者

- (1) 受託者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。
- (2) 管理技術者は、技術士（総合技術監理部門（下水道）、上下水道部門（下水道））の資格を有するものとし、業務の全般にわたり技術的管理を行い、主要な設計協議に出席しなければならない。
- (3) 受託者は、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1.10 工程管理

受託者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1.11 成果品の審査及び納品

- (1) 受託者は、成果品完成後に委託者の検査を受けなければならない。
- (2) 成果品の検査において、訂正を指示された箇所は直ちに訂正しなければならない。
- (3) 委託者検査員による業務の検査に合格後、成果品一式を納品し、業務の完了とする。
- (4) 業務の完了後であっても、明らかに受託者の責に伴う業務の瑕疵が発見された場合、受託者は直ちに当該業務の修正を行わなければならない。

1.12 関係官公庁等との協議

受託者は、関係官公庁等との協議を必要とするとき、または協議を受けたときは、誠意をもってこれにあたり、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1.13 証明書の交付

本業務に必要な証明書及び申請書の交付は、受託者の申請による。

1.14 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合、または本仕様書に定めのない事項については、委託者・受託者が協議のうえ、これを定めるものとする。

第2章 設計一般

2.1 打合せ及び設計協議

- (1) 業務の実施にあたって、受託者は委託者と密接な連絡を取り、連絡事項を都度記録し、打合せの際に相互に確認しなければならない。
- (2) 委託者と受託者の設計協議は、初回・中間2回・完了時の4回を予定しているが、必要に応じて回数を追加するものとする。

2.2 実施方針策定基準等

実施方針策定にあたっては、委託者の指定する図書及び本仕様書第6章参考図書に基づき業務を行わなければならない。また、実施方針策定を行う上で基準となる事項については、委託者と協議のうえ、さだめるものとする。

2.3 実施方針策定上の疑義

実施方針策定上疑義の生じた場合は、委託者との協議のうえ、これらの解決に当たらなければならない。

2.4 実施方針策定の資料

実施方針策定の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

2.5 参考資料の貸与

委託者は、業務に必要な下水道事業計画図書、設計図書、竣工図書、土質調査書、測量成果書、下水道台帳及び調書等の必要な資料を所定の手続きによって貸与する。

2.6 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

第3章 施設情報の整理

3.1 作業内容

受託者が行う作業内容は下表のとおりとする。

作業項目	作業内容・作業の範囲
施設情報の作成	・既に一部電子化された施設情報（施設台帳）の再編集 ・収集資料から小分類単位の施設情報（施設台帳）作成 構造・形状寸法・形式・能力・台数・取得価格・設置年度・改築年度 その他の施設情報の電子データ化
現地調査	施設の目視等による概略確認（収集資料の不足分）
インポートフォーマットの作成	維持管理システム導入のための施設情報（施設台帳）のインポートフォーマット作成
照査	施設情報の収集・整理内容に関する照査

3.2 施設情報の作成

施設情報（施設台帳）については、一部の施設において既に電子化されているが、施設ごとに別表1のような施設台帳（Excel ファイル）が作られており、施設情報は記録されているもののそれを活

扱うデータ項目については、「下水処理場・ポンプ場施設台帳管理システム標準仕様（案）・導入の手引き」によるものとし、その他の項目については業務監督員と協議を行うものとする。

施設名	設備種類	分類	設備名称
葛巻ポンプ場	機械設備	雨水沈砂池	見附系ゲート（流入バイパスゲート）
			No. 1 今町圧送ポンプ
			No. 2 今町圧送ポンプ
			緊急流入ゲート
			No. 1 流入ゲート
			No. 2 流入ゲート

			沈砂池
			細目自動除塵機
			No. 3 し渣搬出機
			No. 4 し渣搬出機
			し渣ホッパー
		雨水ポンプ	ポンプ井
			No. 1 高圧空気圧縮機
			No. 2 高圧空気圧縮機
			No. 1 空気槽
			No. 2 空気槽
			No. 1 ディーゼル機関
			No. 2 ディーゼル機関
			No. 1 消音器
			No. 2 消音器
			No. 1 減速機
			No. 2 減速機
			No. 1 ポンプ
			No. 2 ポンプ
			No. 1 吐出弁
			No. 2 吐出弁
			No. 3 吐出弁
			No. 4 吐出弁
			No. 5 吐出弁
			No. 1 燃料移送ポンプ
			No. 2 燃料移送ポンプ
			No. 1 給水ポンプ
			No. 2 給水ポンプ
			No. 1 クーリングタワー揚水ポンプ
			No. 2 クーリングタワー揚水ポンプ
			冷却塔ファン
			No. 3 空気槽
			No. 3 ディーゼル機関
			No. 3 サイレンサー
			No. 3 減速機
			No. 3 ポンプ
			No. 4 空気槽
			No. 4 ディーゼル機関

			No. 4 サイレンサー
			No. 4 減速機
			No. 4 ポンプ
			No. 3 給水ポンプ
		放流設備	吐出井ゲート
			放流管渠
			吐出ゲート
	建築設備	管理棟	No. 1 管理棟建屋
	電気設備	主要電気機器	受電用開閉器
			しゃ断器
			高圧変圧器
			高圧使用機器
			非常用発電機
		制御盤 (受変電設備)	受電盤
			100 k VA 変圧器盤
			自家発-商用切換盤
			照明変圧器
			計装
			No. 1 主ポンプ
			No. 2 主ポンプ
			No. 3 主ポンプ
			直流電源装置
		制御盤 (電気室)	沈砂池設備コントロールセンタ
			雨水ポンプコントロールセンタ
			補助継電器 1
			補助継電器 2
			補助継電器 3
			変換器
			空気圧縮機
			No. 1 主ポンプ
			No. 2 主ポンプ
			No. 3 主ポンプ
		制御盤 (現場盤)	電灯分電盤
			緊急流入ゲート
			流入ゲート現場操作盤
			ポンプ盤
			テレメータ盤

			流入ゲート
			細目自動除塵機
			し渣搬出機
			し渣・沈砂・ホッパ動力
			クーリングタワー揚水ポンプ
			給水ポンプ
以上、〔葛巻ポンプ場〕機械設備 50 点、建築設備 1 点、電気設備 35 点			
葛巻下水処理場	機械設備	雨水沈砂池	緊急遮断ゲート
			雨水ゲート
			除塵機
			油圧装置
			水平コンベア（雨水）
			雨水沈砂池
			沈砂掻揚機
			沈砂搬出機（雨水）
			傾斜コンベア（雨水）
			油圧装置
			5m3 ホッパー
		雨水ポンプ	雨水ポンプ井
			No. 1 エンジン
			No. 2 エンジン
			No. 3 エンジン
			No. 1 減速機
			No. 2 減速機
			No. 3 減速機
			No. 1 吐出ポンプ
			No. 2 吐出ポンプ
			No. 3 吐出ポンプ
			No. 1 吐出ポンプ電動弁
			No. 2 吐出ポンプ電動弁
			No. 3 吐出ポンプ電動弁
			No. 1 減速機潤滑油ポンプ
			No. 2 減速機潤滑油ポンプ
			No. 3 減速機潤滑油ポンプ
			No. 1 燃料移送ポンプ
			No. 2 燃料移送ポンプ
			φ800 電動ポンプ

			φ800 電動ポンプ電動弁
			吐出ゲート電動操作機
			ホイス
			給水装置
			床排水ポンプ
		し尿	コンプレッサー
			投入槽
			No. 1 し尿破砕ポンプ
			No. 2 し尿破砕ポンプ
			し尿スクリーン
			し尿プレス
			貯留槽
			No. 1 し尿定量ポンプ
			No. 2 し尿定量ポンプ
			ドレンポンプ
		沈砂池	No. 1 汚水流入ゲート
			No. 2 汚水流入ゲート
			No. 1 除塵機
			No. 2 除塵機
			水平コンベア（汚水）
			No. 1 汚水沈砂池
			No. 1 沈砂掻揚機
			No. 2 汚水沈砂池
			No. 2 沈砂掻揚機
			沈砂搬出機（汚水）
			傾斜コンベア（汚水）
			5m ³ ホッパー
			No. 1 コミニューター
			No. 2 コミニューター
			No. 3 コミニューター
		主ポンプ	汚水ポンプ井
			No. 1 汚水ポンプ
			No. 2 汚水ポンプ
			No. 3 汚水ポンプ
			No. 4 汚水ポンプ
			No. 5 汚水ポンプ
			No. 6 汚水ポンプ

			床排水ポンプ
		送風機	No. 1 ルーツ
			No. 2 ルーツ
			No. 3 ルーツ
			No. 4 ターボ
			No. 5 ターボ
			ブロー室ホイス
			床排水ポンプ
		最初沈殿池	最初沈殿池
			初沈汚泥掻寄機
			No. 1 初沈汚泥ポンプ
			No. 2 初沈汚泥ポンプ
			軽量調整槽
			簡易放流ゲート
		反応タンク	1系反応タンク
			1系散気装置
			1系散気筒
		最終沈殿池	1系終沈
			1系 No. 1 終沈掻寄機
			1系 No. 2 終沈掻寄機
			1系 No. 1 池排水ポンプ
			1系 No. 2 池排水ポンプ
			2系増設終沈
			2系 No. 1 池排水ポンプ
			2系既設終沈
			2系 No. 2 池排水ポンプ
			2系 No. 3 池排水ポンプ
			返送汚泥ポンプ井
			No. 1 返送汚泥ポンプ
			No. 2 返送汚泥ポンプ
			No. 1 余剰汚泥ポンプ
			No. 2 余剰汚泥ポンプ
			No. 3 余剰汚泥ポンプ
			汚水中継槽
			排水ポンプ
		消毒	1系塩素混和池
			2系塩素混和池

			No. 1 次亜塩貯留槽
			No. 2 次亜塩貯留槽
			No. 1 次亜塩注入ポンプ（旧）
			No. 1 次亜塩注入ポンプ
			No. 2 次亜塩注入ポンプ
			No. 3 次亜塩注入ポンプ
		汚泥濃縮	No. 1 濃縮槽
			No. 1 濃縮槽掻寄機
			No. 2 濃縮槽
			No. 2 濃縮槽掻寄機
			No. 3 濃縮槽
			No. 3 濃縮槽掻寄機
			No. 1 初沈汚泥流入弁
			No. 2 初沈汚泥流入弁
			No. 3 初沈汚泥流入弁
			No. 1 余剰汚泥流入弁
			No. 2 余剰汚泥流入弁
			No. 3 余剰汚泥流入弁
			No. 1 汚泥引抜弁
			No. 2 汚泥引抜弁
			No. 3 汚泥引抜弁
			No. 1 床排水ポンプ
			No. 3 床排水ポンプ
		汚泥脱水	No. 1 汚泥移送ポンプ
			No. 2 汚泥移送ポンプ
			汚泥サービスタンク攪拌機
			No. 1 汚泥供給ポンプ
			No. 2 汚泥供給ポンプ
			No. 1 薬品溶解タンク攪拌機
			No. 2 薬品溶解タンク攪拌機
			No. 1 薬品定量供給機
			No. 2 薬品定量供給機
			No. 1 薬液供給ポンプ
			No. 2 薬液供給ポンプ
			凝集混和槽
			No. 1 汚泥脱水機
			No. 2 汚泥脱水機

			No. 1 ケーキ搬出コンベア
			No. 2 ケーキ搬出コンベア
			No. 1 空気圧縮機
			No. 2 空気圧縮機
			除湿器
			受水槽
			給水ユニット
			ケーキ貯留ホッパ
			脱臭ファン
			No. 1 風量切替ダンパ
			No. 2 風量切替ダンパ
			活性炭吸着塔
			排風機
		脱臭	定量ポンプ
			NaOH 貯槽
			攪拌機
			水洗浄塔
			アルカリ洗浄塔
			洗浄液循環塔
			No. 1 循環ポンプ
			No. 2 循環ポンプ
			排風機
		自家発電	非常用発電機
			ホイス
		合流改善雨水滞水池	No. 7 雨水滞水地送水ポンプ
			雨水滞水地
			No. 1 返流水ポンプ
			No. 2 返流水ポンプ
			No. 3 返流水ポンプ
			No. 1 空気圧縮機
			No. 2 空気圧縮機
			簡易放流ポンプ
			簡易処理水耐水池
			返送ポンプ
		管理施設	流入管渠
			汚水放流管渠
			雨水放流管渠

			場内井戸ポンプ
			駐車場井戸ポンプ
			冷却水循環ポンプ
			冷却塔ファン
			空調機（1F）
			空調機（1F）旧
			空調機（2F）
			空調機（3F）
			オイルギヤポンプ
			温水ボイラー
			冷温水循環ポンプ
			冷却水循環ポンプ
			冷却塔ファン
			冷凍機
			ファンコイル
			サンプリングポンプ
			消泡水弁
			空調機（脱水監視室）
			空調機（第2電気室）
			No.1 シャッター
			No.2 シャッター
			管理棟
	備品類	高圧洗浄機	
		温水洗浄機（工具室）	
		温水洗浄機（脱水）	
	消防用設備	消防設備	
		電気設備	
	主要電気機器	高圧気中開閉器（常用）	
		高圧気中開閉器（予備用）	
		高圧気中開閉器（切替用）	
		しゃ断器（主）	
		しゃ断器（1系設備用）	
		しゃ断器（2系送り用）	
		しゃ断器（2系設備用）	
		しゃ断器（2系400V変圧器用）	
		しゃ断器（2系200V変圧器用）	
		しゃ断器（2系単相変圧器用）	
しゃ断器（脱水送り用）			

			しゃ断器（脱水設備用）
			変圧器（１系設備 400V 用）
			変圧器（１系設備 200V 用）
			変圧器（１系設備単相用）
			変圧器（２系設備 400V 用）
			変圧器（２系設備 200V 用）
			変圧器（２系設備単相用）
			変圧器（脱水設備 200V 用）
			コンデンサ（１系常用設備用）
			コンデンサ（ルーツブロワー用）
			コンデンサ（２系常用設備用）
			コンデンサ（汚水ポンプ大用）
			コンデンサ（脱水設備用）
			コンデンサ（電動雨水ポンプ用）
			避雷器（常用設備用）
			避雷器（予備線）
			避雷器（受電室引込盤）
			零相基準入力装置
			零相蓄電器
			直列リアクトル（常用設備用）
			直列リアクトル（汚水ポンプ大用）
			直列リアクトル（脱水設備用）
			直列リアクトル（電動雨水ポンプ用）
			直流電源装置
		保護継電器	受電室 受電盤
			受電室 高圧盤（１系用）
			受電室 高圧盤（２系送り用）
			第２電気室 受電盤
			第２電気室 変圧器一次盤（１）
			第２電気室 変圧器一次盤（２）
			第２電気室 変圧器一次盤（３）
			第２電気室 分岐盤
			第３電気室 高圧受電盤
			引込柱 常用
			引込柱 予備用
			受電室 受電盤
			受電室 高圧盤（１系用）

			受電室（２系送り用）
			第２電気室 引込盤
			第２電気室 分岐盤
		制御盤 （受変電設備）	受電室 引込盤
			受電室 受電盤
			受電室 高圧盤
			受電室 No. 1 低圧動力盤
			受電室 接地接続盤
			第２電気室 引込盤
			第２電気室 受電盤
			第２電気室 コンデンサ盤（１）
			第２電気室 コンデンサ盤（２）
			第２電気室 コンデンサ盤（３）
			第２電気室 コンデンサ盤（４）
			第２電気室 変圧器一次盤（１）
			第２電気室 変圧器一次盤（２）
			第２電気室 変圧器一次盤（３）
			第２電気室 分岐盤
			第２電気室 変圧器盤（１）
			第２電気室 変圧器盤（２）
			第２電気室 変圧器盤（３）
			第２電気室 低圧分岐盤（１）
			第２電気室 低圧分岐盤（２）
			第２電気室 接地端子箱
			第３電気室 高圧受電盤
			第３電気室 低圧電源盤
			第３電気室 監視盤
			第３電気室 接地接続盤
		制御盤 （監視装置盤）	LCD 監視装置（１）
			LCD 監視装置（２）
			帳票プリンタ
			計装盤
			制御装置盤（１）
			制御装置盤（２）
			汎用ミニ UPS
			増設ミニ UPS
			No. 1 中継端子盤

			No. 2 中継端子盤
			雨水ポンプ中継端子盤
			接地端子盤
			制御監視装置用 UPS 電源分電盤
		制御盤 (No. 1 低圧動力盤 系統の現場盤)	400V ブロワー盤
			200V ブロワー盤
			ブロワー操作盤 (ルーツ・リフト)
			ブロワー操作盤 (ターボ)
			L-2 ブロワー室電灯盤
			ゲート操作盤
			No. 1 リフター分電函
			No. 2 リフター分電函
			P-2 制御盤
			P-1 制御盤
			動力操作盤
			排気ガス洗浄装置制御盤
			冷暖房動力盤
			排気ガス洗浄装置動力盤
			L-1 旧管理棟電灯盤
			動力制御盤
			余剰汚泥ポンプ操作盤
			簡易処理放流ポンプ制御盤
		制御盤 (第 2 電気室、低 圧分岐盤 (1) 系 統の現場盤)	400V 汚水ポンプ盤
			200V 汚水ポンプ盤
			濃縮設備コントロールセンタ
			濃縮設備補助継電器 (1)
			濃縮設備補助継電器 (2)
			濃縮槽監視盤
			し尿処理設備盤
			電気室空調電源盤
			P-3 制御盤
			低圧受電盤
			ポンプ盤
			直流電源盤
			消泡水電磁弁盤
			汚水ポンプ現場操作盤
			スクリーン・プレス操作盤

			管理棟中央監視盤
			管理棟動力盤
			No. 1 濃縮槽操作盤 (H1)
			No. 2 濃縮槽操作盤 (H2)
			No. 3 濃縮槽操作盤 (H3)
			P-8 制御盤
			自動ストレーナー盤
			高速ろ過設備制御盤
			次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ制御盤
			池排水ポンプ電源箱
			中継端子盤
			雨水滯水池制御盤
			雨水滯水池送水ポンプ現場操作盤
			No. 1 雨水滯水池現場操作盤
			No. 2 雨水滯水池現場操作盤
			No. 3 雨水滯水池現場操作盤
			空気圧縮機現場操作盤
			返送ポンプ制御盤
		制御盤 (第2電気室、低 圧分岐盤(2)系 統の現場盤)	ゲート操作盤
			P-4 制御盤
			雨水除塵機制御盤
			除塵機操作盤
			P-6 制御盤
			P-5 制御盤
			P-7 脱臭装置制御盤
			サンプリングポンプ盤
			ゲート操作現場盤
			雨水除塵機制御現場盤
			P-4 制御現場盤
			除塵機操作現場盤
			P-6 制御現場盤
			P-5 制御現場盤
			し尿破砕機操作盤
			し尿定量ポンプ操作盤
			L-F 雨水ポンプ室電灯盤
			L-D 汚水ポンプ室電灯盤
			高速ろ過設備照明分電盤

			L-1 既設電灯分電盤
			L-2 電灯分電盤
			L-3 電灯分電盤
		制御盤 (第3電気室系統の現場盤)	電灯盤
			汚泥脱水設備コントロールセンタ
			汚泥脱水設備補助継電器 (1)
			汚泥脱水設備補助継電器 (2)
			汚泥脱水設備補助継電器 (3)
			監視制御盤
			SL-1-1
			汚泥移送ポンプ
			汚泥サービスタンク攪拌機
			汚泥供給ポンプ
			薬品溶解タンク攪拌機・薬品定量供給機
			薬液供給ポンプ
			ケーキ搬出コンベア
			空気圧縮機
			脱臭ファン
			風量切替ダンパ
			作業用電源
			No. 1 汚泥脱水機制御盤
			No. 2 汚泥脱水機制御盤
			ケーキ貯留ホッパ制御盤
		制御盤 (計装機器の現場盤)	No. 1 汚水流量計アレスタ盤
			No. 2 汚水流量計アレスタ盤
			流入水温計変換器盤
			No. 1 AT 水温計
			No. 1 ATDO 計変換器盤
			No. 1 放流流量計避雷器盤
			No. 2 放流流量計避雷器盤
		監視制御設備	放流水温計変換器盤
			LCD 監視装置 (1)
			LCD 監視装置 (2)
			帳票プリンタ
			計装盤
			制御装置盤 (1)
			制御装置盤 (2)

			汎用ミニ UPS
			増設ミニ UPS
			No. 1 中継端子盤
			No. 2 中継端子盤
		計装設備	No. 1 曝気風量計
			No. 2 曝気風量計
			No. 1 返送汚泥流量計
			No. 2 返送汚泥流量計
			初沈汚泥流量計
			余剰汚泥流量計
			汚泥移送流量計
			汚泥供給流量計
			薬品供給流量計
			雨水ポンプ井水位計
			吐出井水位計
			汚泥サービスタンク液位計
			薬品溶解タンク液位計
			No. 1 流入水量計
			No. 2 流入水量計
			汚水ポンプ井水位計
			No. 1 放流量計
			原水槽水位計
			No. 2 放流量計
			受水槽水位計
			AT 流入水位計
			簡易放流水位計
			No. 1 汚泥供給圧力計
			No. 2 汚泥供給圧力計
			雨水ゲート開度計
			既設ゲート開度計
			新設流入ゲート開度計
			簡易放流ゲート開度計
			流入水温計
			No. 1 AT 水温計
			No. 2 AT 水温計
			放流水温計
			No. 1 AT・DO 計

			No. 2 AT・DO 計
			汚泥移送濃度計
			汚泥供給濃度計
以上、〔葛巻下水処理場〕機械設備 204 点、電気設備 236 点			
今町終末処理場	機械設備	沈砂池	No. 1 沈砂池
			No. 2 沈砂池
			流入ゲート
			No. 1 沈砂池流入ゲート
			No. 2 沈砂池流入ゲート
			No. 1 粗目スクリーン
			No. 2 粗目スクリーン
			No. 1 細目除塵機
			し渣洗淨脱水機
			No. 2 ベルトコンベア
			No. 3 ベルトコンベア
			し渣スキップホイス
			し渣ホッパ
			No. 1 沈砂池流出ゲート
			No. 2 沈砂池流出ゲート
			機器搬入用チェーンブロック
		主ポンプ	ポンプ室
			ポンプ井
			主配管
			No. 1 汚水ポンプ吸込弁
			No. 2 汚水ポンプ吸込弁
			No. 3 汚水ポンプ吸込弁
			No. 4 汚水ポンプ吸込弁
			No. 1 汚水ポンプ
			No. 2 汚水ポンプ
			No. 3 汚水ポンプ
			No. 1 汚水ポンプ逆止弁
			No. 2 汚水ポンプ逆止弁
			No. 3 汚水ポンプ逆止弁
			No. 1 汚水ポンプ吐出弁
			No. 2 汚水ポンプ吐出弁
			No. 3 汚水ポンプ吐出弁
			No. 4 汚水ポンプ吐出弁

			ポンプ室床排水ポンプ
			機器搬入用チェーンブロック
			ポンプ井連絡ゲート
送風機			ブロー棟
			No. 1 送風機
			No. 2 送風機
			乾式エアフィルター
			湿式空気ろ過器
			天井走行クレーン
			空気管将来用弁
			No. 3 送風機
			No. 4 送風機
			No. 3 ブロワ吸込電動弁
			No. 4 ブロワ吸込電動弁
			No. 3 ブロワ吐出電動弁
			No. 4 ブロワ吐出電動弁
最初沈殿池			2系最初沈殿池
			最初沈殿池污泥掻寄機
			No. 1 生污泥ポンプ
			No. 2 生污泥ポンプ
			生污泥引抜弁
			スカム分離装置
			分配槽可動堰
			流入可動堰
			バイパスゲート
			1系調整槽可動堰
			2系調整槽可動堰
			床排水ポンプ
			1系最初沈殿池
反応タンク			2系1反応タンク
			2系反応タンク流入ゲート
			1・2系反応タンク切替ゲート
			2系1反応タンク流入可動堰
			2系1反応タンクステップ可動堰
			2系1返送污泥流入可動堰
			2系1スイングアーム
			散気筒（2系1）

			2系散気装置吊上機
			消泡装置
			2系風量調整弁
			2系2反応タンク
			2系2反応タンク流入可動堰
			2系2反応タンクステップ可動堰
			2系2返送汚泥流入可動堰
			2系2スイングアーム
			散気筒（2系2）
			消泡装置
			1系2反応タンク
			1系反応タンク流入ゲート
			1系2反応タンク流入可動堰
			1系2No.1 返送汚泥流入可動堰
			1系2No.2 返送汚泥流入可動堰
			1系2－1 散気装置
			1系2－2 散気装置
			1系2－3 散気装置
			1系2－4 散気装置
			1系風量調整弁
			1系攪拌機吊上装置
			1系1反応タンク
		最終沈殿池	2系1最終沈殿池
			2系2最終沈殿池
			2系終沈流入ゲート
			2系1終沈汚泥掻寄機
			2系2終沈汚泥掻寄機
			2系1－1 返送汚泥引抜弁
			2系1－2 返送汚泥引抜弁
			2系2－1 返送汚泥引抜弁
			2系2－2 返送汚泥引抜弁
			2系1号返送汚泥ポンプ
			2系2号返送汚泥ポンプ
			2系3号返送汚泥ポンプ
			2系1号余剰汚泥引抜弁
			2系2号余剰汚泥引抜弁
			2系1号余剰汚泥ポンプ

			2系2号余剰汚泥ポンプ
			2系1スカムスキマー
			2系2スカムスキマー
			2系スカム分離装置
			床排水ポンプ
			連絡弁
			1系2最終沈殿池
			1系終沈流入可動堰
			1系2終沈汚泥掻寄機
			1系2－1返送汚泥引抜弁
			1系2－2返送汚泥引抜弁
			1系1号返送汚泥ポンプ
			1系2号返送汚泥ポンプ
			1系2－1余剰汚泥引抜弁
			1系2－2余剰汚泥引抜弁
			1系1号余剰汚泥ポンプ
			1系2号余剰汚泥ポンプ
			1系1スカムスキマー
			1系2スカムスキマー
			1系スカム分離装置
			1系1最終沈殿池
		消毒	塩素混和池（B1F）
			塩素混和池（1F）
			次亜塩素タンク
			No.1 次亜塩注入ポンプ
			No.2 次亜塩注入ポンプ
			次亜塩素酸切替弁
			ストレーナー
			次亜塩流量計
			No.1 消泡水ポンプ
			No.2 消泡水ポンプ
			消泡水ストレーナー
		用水	砂ろ過棟（B1F）
			砂ろ過棟（1F）
			No.1 軸封水ポンプ
			No.2 軸封水ポンプ
			軸封水圧力タンク

			No. 1 自家発冷却水ポンプ
			No. 2 自家発冷却水ポンプ
			No. 1 補給水ポンプ
			No. 2 補給水ポンプ
			補給水圧力タンク
			No. 1 洗浄水ポンプ
			No. 2 洗浄水ポンプ
			洗浄水用ストレーナー
			洗浄水圧力タンク
			空気圧縮機
			No. 1 砂ろ過器
			No. 1 原水ポンプ
			No. 2 原水ポンプ
			オートストレーナー
			固形塩素接触装置
			チェーンブロック
			水路切替用電動仕切弁（放流側）
			水路切替用電動仕切弁（ろ過水槽側）
			手動式外ネジ仕切弁
			スイング逆止弁
			プラント用受水槽
			エアードライヤ
			飲料水用受水槽
		汚泥濃縮	汚泥濃縮槽
			濃縮汚泥掻寄機
			スカム分離装置
			No. 1 沈降濃縮汚泥ポンプ
			No. 2 沈降濃縮汚泥ポンプ
			沈降濃縮汚泥引抜弁
			床排水ポンプ
		汚泥脱水	汚泥脱水機室
			汚泥貯留槽
			No. 1 汚泥破碎ポンプ
			No. 2 汚泥破碎ポンプ
			汚泥送泥弁
			汚泥破碎弁
			汚泥サービスタンク

			汚泥サービスタンク攪拌機
			No. 1 汚泥供給ポンプ
			No. 1 薬品定量供給機
			No. 1 薬品溶解タンク
			No. 1 薬品溶解タンク攪拌機
			薬品供給ポンプ
			No. 1 空気圧縮機
			No. 2 空気圧縮機
			除湿器
			凝集混和槽
			凝集混和槽攪拌機
			No. 1 汚泥脱水機
			ろ布駆動用電動機
			トロンメル
			トロンメル駆動機
			汚泥拡散駆動機
			ホイス
			チェーンブロック
			No. 1 脱水ケーキコンベア
			脱水機ケーキ貯留ホッパ
			No. 1 ろ布洗浄水ポンプ
			No. 2 ろ布洗浄水ポンプ
			ろ布洗浄圧力タンク
			No. 2 汚泥供給ポンプ
			No. 3 汚泥供給ポンプ
			No. 2 薬品供給機
			No. 2 薬品溶解タンク
			No. 2 薬品溶解タンク攪拌機
			No. 1 薬品注入ポンプ
			No. 2 薬品注入ポンプ
			No. 3 薬品注入ポンプ
			No. 2 汚泥脱水機
	脱臭		活性炭吸着塔
			脱臭吸引ファン
			エリミネーター
			チェーンブロック
	管理施設		管理棟

		流入管渠
		放流管渠
		真空給水ポンプ
		蒸気ボイラー
		冷却塔系統表
		冷却塔（CT-1）
		冷却塔（CT-2）
		冷却塔（CT-3）
		No. 1 冷却水ポンプ（CPD-1）
		No. 2 冷却水ポンプ（CPD-2）
		No. 3 冷却水ポンプ（CPD-3）
		空調機（PAC-1）
		空調機（PAC-2）
		空調機（PAC-3）
		空調機（PAC-4）
		空調機（PAC-6）
		空調機（PAC-7）
		空調機（PAC-8）
		空調機（PAC-9）
		空調機（PAC-10）
		空調機（PAC-11）
		沈砂池送風機（DF1）
		沈砂池排風機（DF2）
		機械室送風機（DF3）
		機械室排風機（DF4）
		電気室送風機（DF5）
		電気室排風機（DF6）
		自家発電室送風機（DF7）
		自家発電室排風機（DF8）
		ポンプモーター室送風機（DF9）
		ポンプモーター室排風機（DF10）
		脱水機室送風機（DF11）
		脱水機室排風機（DF12）
		ブロー棟送風機（F1）
		ブロー棟排風機（F2）
		ボイラー室送風機（F3）
		ボイラー室排風機（F4）

			自家発電非常時送風機（SIF3）
			自家発電非常時排風機（SIF2）
			初沈ルーフファン
			終沈ルーフファン
			1系ルーフファン
			ハンドホール池排水ポンプ
			低水位排水用ポンプ
		自家発電	自家用発電機室
			ディーゼルエンジン
			交流発電機
			燃料小出槽
			No. 1 燃料移送ポンプ
			No. 2 燃料移送ポンプ
			手動燃料移送ポンプ
			冷却水減圧水槽
			排気消音器
			燃料貯油槽
			No. 1 空気圧縮機
			No. 2 空気圧縮機
			空気槽
			潤滑油プライミングポンプ
			温水潤滑ポンプ
			ダミーロード
			冷却水ヒーター
		備品類	高圧洗浄機
	電気設備	主要電気機器	高圧気中開閉器
			しゃ断器（受電盤）
			しゃ断器（No. 1 動力変圧器盤）
			しゃ断器（No. 2 動力変圧器盤）
			しゃ断器（建築動力変圧器盤）
			しゃ断器（照明変圧器盤）
			しゃ断器（自家発電連絡盤）
			しゃ断器（発電機盤）
			しゃ断器（ダミー切換盤）
			変圧器（No. 1 動力変圧器盤）
			変圧器（No. 2 動力変圧器盤）
			変圧器（建築動力変圧器盤）

			変圧器（照明変圧器盤）
			コンデンサ（常用設備用）
			避雷器（引込盤）
			直列リアクトル（常用設備用）
			零相蓄電器（ZPC）
			接地形計器用変圧器（GPT）
			サージアブソーバ（SA）
			蓄電池
			整流器
			インバータ
		保護継電器	電気室 受電盤（OCR）
			電気室 No. 1 動力変圧器一次（OCR）
			電気室 No. 2 動力変圧器一次（OCR）
			電気室 建築動力変圧器一次（OCR）
			電気室 照明変圧器一次（OCR）
			発電機室 発電機盤（OCR）
			発電機室 ダミー切換盤（OCR）
			引込柱（DGR）
			電気室 No. 1 動力変圧器一次（DGR）
			電気室 No. 2 動力変圧器一次（DGR）
			電気室 建築動力変圧器一次（DGR）
			電気室 照明変圧器一次（DGR）
			発電機室 発電機盤（DGR）
			発電機室 ダミー切換盤（DGR）
			電気室 受電盤（UVR）
			電気室 ZPC（OVGR）
			電気室 No. 1 コンデンサ
			発電機室 発電機盤（UVR）
			発電機室 発電機盤
			発電機室 発電機盤（OVR）
			発電機室 発電機盤（OVGR）
			電気室 No. 1 動力フィーダー（GR）
			電気室 建築動力フィーダー（GR）
			電気室 照明フィーダー（GR）
		制御盤 （受変電設備盤）	引込盤
			受電盤
			No. 1・2 動力変圧器一次

			建築動力・照明変圧器一次
			ZPC 自家発連絡盤
			No. 1 コンデンサ
			No. 1 動力変圧器
			No. 2 動力変圧器
			建築動力変圧器
			照明変圧器
			No. 1 動力フィーダ
			No. 2 動力フィーダ
			建築動力フィーダ
			照明フィーダ
			照明動力分電
			蓄電池盤
			整流器盤
			インバータ盤
			自動始動盤
			発電機盤
			ダミー・ロード切換盤
			接地接続箱
		制御盤 (監視装置盤)	CRT 監視操作卓 (CRT-1)
			CRT 監視操作卓 (CRT-2)
			ミニグラフィック操作卓 (MGP-1)
			ミニグラフィック操作卓 (MGP-2)
			ミニグラフィック操作卓 (MGP-3)
			ハードコピー装置
			作表用プリンタ
			警報用プリンタ
			データサーバ
			データ伝送装置
			MGP コントローラ
			シーケンスコントローラ (SQC-K1)
			シーケンスコントローラ (SQC-K2)
			シーケンスコントローラ (SQC-W1)
			調節計
			1・2系水処理計装
			変換器 (1)
			変換器 (2)

			変換器（３）
			沈砂池ポンプ変換器盤
			中継端子（１）
			中継端子（２）
			電源分電盤
			時計監視盤・動力監視
			火災報知器連動操作盤
		制御盤 （No. 2 動力変圧器、現場盤）	コントロールセンタ
			補助継電器
			沈砂池設備コントロールセンタ
			補助継電器盤（２）
			流入ゲート
			No. 1 沈砂掻揚機
			No. 1 細目除塵機
			No. 1・3 コンベア
			No. 2・3 コンベア
			し渣洗淨脱水機制御盤
			し渣スキップホイスト
			し渣ホッパ
			軸封水ポンプ
			補給水ポンプ
			自家発冷却水ポンプ
			コントロールセンタ
			コントロールセンタ
			汚水ポンプ設備コントロールセンタ
			補助継電器（R-2）
			補助継電器（R-12A）
			No. 1・2 汚水ポンプ
			No. 1・2 汚水ポンプ VVVF
			No. 1 汚水ポンプ吐出弁
			No. 2 汚水ポンプ吐出弁
			No. 3 汚水ポンプ
			No. 3 汚水ポンプ吐出弁
			ポンプ室床排水ポンプ
			汚水ポンプ井水位盤
			コントロールセンタ
			補助継電器

		2系初沈汚泥掻寄機
		生汚泥ポンプ
		2系生汚泥引抜弁
		初沈管廊床排水ポンプ
		散気装置 (SA1-2A)
		散気装置 (SA1-2B)
		2系風量調節弁
		コントロールセンタ
		補助継電器
		終沈汚泥掻寄機 (LCB-501B)
		終沈汚泥掻寄機 (LCB-501D)
		返送汚泥ポンプ
		2系返送汚泥引抜弁
		余剰汚泥ポンプ
		終沈管廊床排水ポンプ
		コントロールセンタ (CC-6A)
		コントロールセンタ (No. 3 送風機)
		コントロールセンタ (No. 4 送風機)
		補助継電器 (R-6A1)
		補助継電器 (R-6A2)
		No. 1 送風機
		No. 2 送風機
		No. 3 送風機
		No. 4 送風機
		No. 1 送風機速度制御
		乾式エアフィルタ
		コントロールセンタ
		補助継電器
		次亜塩注入ポンプ
		次亜塩切替弁
		消泡水ポンプ
		洗浄水ポンプ
		コントロールセンタ
		補助継電器
		汚泥濃縮タンク掻寄機
		沈降・濃縮汚泥ポンプ
		沈降・濃縮汚泥引抜弁

			管廊床排水ポンプ
			沈降濃縮床排水ポンプ
			コントロールセンタ
			補助継電器
			燃料移送ポンプ
			潤滑油プライミングポンプ
			ダミー昇降装置
			空気圧縮機
			コントロールセンタ
			補助継電器
			脱臭ファン
			汚泥破碎ポンプ
			脱水機補機
			脱水ケーキホッパ
			ろ布洗浄水ポンプ
			コントロールセンタ
			補助継電器
			1系生汚泥引抜弁・風量調節弁
			コントロールセンタ
			補助継電器
			1系2-2散気装置 VVVF
			1系2-4散気装置 VVVF
			1系2散気装置
			1系 No. 2 終沈汚泥掻寄機
			1系返送汚泥ポンプ
			1系余剰汚泥ポンプ
		制御盤 (建築動力変圧器、現場盤)	1P-1
			1P-2
			1P-3
			2P-1
			2P-2
			3P-1
			RP-1
			B1P-1
			B1P-2
			P-P
			消雪井戸ポンプ盤

			消泡式超音波濃度計
			圧力水槽制御盤（沈砂室）
			消火栓ポンプ盤
			ポンプ井水位盤
			圧力水槽制御盤（滅菌室）
			サンプリングポンプ
			WP-1
			1L-1
			1L-2
			2L-1
			2L-2
			3L-1
			B1L-1
			B1L-2
			2TL-B
			外灯制御盤
			外灯操作盤
		監視制御設備	CRT 監視操作卓（CRT-1）
			CRT 監視操作卓（CRT-2）
			ミニグラフィック操作卓（MGP-1）
			ミニグラフィック操作卓（MGP-2）
			ミニグラフィック操作卓（MGP-3）
			作表用プリンタ
			警報用プリンタ
			データサーバ
			データ伝送装置
			MGP コントローラ
			シーケンスコントローラ（SQC-K1）
			シーケンスコントローラ（SQC-K2）
			シーケンスコントローラ（SQC-W1）
			調節計
			1. 2 系水処理計装
			変換器（1）
			変換器（2）
			変換器（3）
			中継端子（1）
			中継端子（2）

			分電盤
			時計監視盤
		計装設備	No. 1 送風機吸込風量
			No. 2 送風機吸込風量
			No. 3 送風機吸込風量
			No. 4 送風機吸込風量
			2系エアタンク入口風量
			1系反応タンク入口風量
			2系返送汚泥流量
			1系返送汚泥流量
			生汚泥流量
			2系余剰汚泥流量
			1系余剰汚泥流量
			濃縮汚泥供給流量
			脱水機汚泥流量
			脱水機薬品注入量
			砂ろ過水量
			ポンプ井水位
			汚泥貯留槽水位
			ろ過水槽水位
			流入渠水位
			ポンプ井水位
			次亜塩タンク液位
			初沈流入水量
			放流量
			ストレージタンク燃料液位
			エアタンク送風圧力
			No. 1 汚水ポンプ回転数
			2系2号返送ポンプ回転数
			2系3号返送ポンプ回転数
			1系1号返送ポンプ回転数
			1系2号返送ポンプ回転数
			No. 1 次亜塩ポンプ回転数
			No. 2 次亜塩ポンプ回転数
			流入ゲート開度
			No. 1 汚水ポンプ吐出弁開度
			No. 2 汚水ポンプ吐出弁開度

			No. 3 汚水ポンプ吐出弁開度
			No. 3 ブロワーインレットペーン開度
			No. 4 ブロワーインレットペーン開度
			脱水機ケーキホッパ重量
			2系 No. 1 AT・D0
			2系 No. 2 AT・D0
			1系 No. 2 AT・D0
			生污泥濃度
			2系返送污泥濃度
			1系返送污泥濃度
			脱水機污泥濃度
			2系 No. 1 エアタン MLSS
			2系 No. 2 エアタン MLSS
			1系 No. 2 反応タンク MLSS
以上、〔今町終末処理場〕機械設備 280 点、電気設備 285 点			
以上、〔総合計〕機械設備 534 点、建築設備 1 点、電気設備 556 点			

3.3 現地調査

施設情報の作成を進める中で、資料収集のみでは情報が不足する施設及び設備について、必要に応じ現地調査を実施する。この現地調査では、情報の不足及び電子化されていない施設の有無を確認するものとし、すでに取りまとめたデータの正誤確認は原則として行わないものとする。

不足しているデータは2割程度と想定している。現地調査の実施量については、「施設情報の作成」業務の進捗に合わせて、業務監督員と協議を行ったうえで実施する。

3.4 インポートフォーマットの作成

「3.2 施設情報の作成」で整理した電子データについて、下水処理場・ポンプ場施設台帳管理システムのインポートフォーマットに載せ替える。

なお、フォーマットは「下水処理場・ポンプ場施設台帳管理システム標準仕様（案）・導入の手引き」に則り、固有のシステムのみ取り込めるものではなく、複数のシステムに広く互換性があるものとする。

本業務では、インポートフォーマットの作成までを対象とし、施設台帳管理システムへの取り込み及びシステムの運用は含まない。

第4章 照査

4.1 照査の目的

受注者は業務を施工する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないよ

う努めなければならない。

4.2 照査の体制

受注者は、遺漏なき照査を実施するため、相当な技術経験を有する照査技術者を配置しなければならない。なお、照査技術者は技術士（総合技術監理部門（下水道）、上下水道部門（下水道））の資格を有するものとする。

第5章 提出図書

5.1 提出図書

第3章で示した作業項目の成果品は、下記に示す通りとする。

- （1）業務報告書
- （2）施設情報の整理表
- （3）施設台帳管理システムのインポートフォーマット
- （4）工事竣工図書データ
- （5）工事竣工図データ
- （6）点検・調査データ
- （7）修繕・改築データ

なお、提出するファイルは、「下水処理場・ポンプ場施設台帳管理システム標準仕様（案）・導入の手引き（日本下水道協会）」に基づいて作成し、施設台帳管理システムとの互換性に留意すること。

第6章 参考図書

6.1 参考図書

業務は、下記に掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。

- （1）見附市の下水道標準構造図
- （2）見附市の下水道維持管理指針
- （3）見附市の下水道改築マニュアル
- （4）下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン（国土交通省）
- （5）下水道施設計画設計指針と解説（日本下水道協会）
- （6）下水道維持管理指針（日本下水道協会）
- （7）下水道施設の耐震対策指針と解説（日本下水道協会）
- （8）合流式下水道改善対策指針と解説（日本下水道協会）
- （9）下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル（日本下水道事業団）
- （10）下水処理場・ポンプ場施設台帳管理システム標準仕様（案）・導入の手引き（日本下水道協会）

葛巻下水処理場ほか 施設台帳作成業務 委託

特記仕様書

1. 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は、「葛巻下水処理場ほか 施設台帳作成業務 委託 一般仕様書第1章 1.1 及び 1.2 に定める特記仕様書」とし、この仕様書に記載されていない事項は前記標準仕様書による。

2. 業務委託の対象

2.1 終末処理場

(1) 名称	葛巻下水処理場	今町終末処理場
(2) 位置	見附市葛巻2丁目	見附市今町7丁目
(3) 下水排除方式	合流式	分流式
(4) 処理方式	水処理	標準活性汚泥法
(5) 能力	計画1日最大処理水量	9, 800 m ³ /日
(6) 供用開始年月	昭和44年4月	昭和61年4月

2.2 雨水ポンプ場

(1) 名称	葛巻下水処理場	葛巻ポンプ場
(2) 位置	見附市葛巻2丁目	見附市葛巻2丁目
(3) 下水排除方式	合流式	分流式
(4) 処理能力	152.5 m ³ /分 (≒ 2.54 m ³ /秒)	353 m ³ /分 (≒ 5.88 m ³ /秒)
(5) 供用開始年月	昭和44年	昭和57年

委 託 契 約 条 項

(総 則)

第1条 受注者は、この契約の定めるところにより業務委託を誠実に履行し、発注者は、受注者に対する債務を履行しなければならない。

(権利義務の譲渡等)

第2条 受注者は、この契約により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の書面による承諾を得たときはこの限りでない。

2 発注者は、この契約に基づき取得した目的物（以下「成果品」という。）を自由に使用し、又はこれを使用するときにはその内容を変更することができる。

(再委託等の禁止)

第3条 受注者は、本業務の全部又は大部分を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ発注者の書面による承諾を得たときは、この限りでない。

(特許権等の使用)

第4条 受注者は、本業務の履行にあたり特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利（以下「特許権等」という。）の対象となっているものを使用するときは、その使用に関する一切の責任を負わなければならない。ただし、発注者の責めに帰すべき事由を起因として権利侵害となる場合は、この限りではない。

(業務委託の調査等)

第5条 発注者は、必要がある場合には、業務委託に関して受注者に説明若しくは報告を求め、又は調査若しくは指示をすることができる。

(業務内容の変更等)

第6条 発注者は、必要がある場合には、業務委託の内容を変更し、又は業務委託の全部若しくは一部を一時中止することができる。この場合において、契約金額及び履行期限を変更する必要があるときは、発注者と受注者とが協議して定める。

2 受注者は、業務委託について仕様書の不備、不測の事態の発生その他正当な理由がある場合は、発注者に対し業務委託の内容の変更を請求することができる。この場合において、契約事項を変更する必要があるときは、発注者と受注者とが協議して定める。

(履行期限の延長)

第7条 受注者は、受注者の責めに帰することのできない事由により履行期間内に契約の履行を完了することができないときは、その理由を明示した書面により、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

2 発注者は、前項の規定による請求があった場合において、必要があると認められるときは、履行期間を延長しなければならない。発注者は、その履行期間の延長が発注者の責めに帰すべき事由による場合においては、契約代金額について必要と認められる変更を行い、又は受注者に損害を及ぼしたときは必要な費用を負担しなければならない。

(損害)

第8条 第10条第4項の規定による成果品の引き渡し前に生じた損害その他業務委託の処理に関して生じた損害（第三者に及ぼした損害を含む。）は、受注者の負担とする。ただし、その損害のうち発注者の責めに帰する理由により生じたものについては、発注者の負担とする。

(履行遅滞による損害)

第9条 発注者は、受注者の責めに帰する理由により履行期限内に業務委託を完了することができない場合において、期限経過後相当の期間内に完了する見込みがあるときは、受注者から違約金（遅滞日数1日につき、契約金額の1,000分の1の額とする。）を徴収して、期限を延長することができる。

2 発注者の責めに帰する理由により第11条の規定による契約金額の支払いが遅れたときは、受注

者は、発注者に対し、期間を経過した日から支払いをする日までの日数につき、政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号）第8条の規定により指定された率（以下「法定率」という。）によって算定した遅延利息の支払いを請求することができる。

（検査及び引き渡し）

第10条 受注者は、業務委託が完了したときは、履行届を発注者に提出し、この契約に定める成果品について発注者の検査を受けなければならない。

2 発注者は、受注者から前項の履行届を受領したときは、その日から起算して10日以内に検査しなければならない。

3 前項の規定による検査の結果不合格となり、発注者から期限を指定して補正を命ぜられたときは、受注者は、自己の負担で指定期限内にこれを行い、発注者の検査を受けなければならない。この場合における発注者の検査については、前2項の規定を準用する。

4 発注者の検査に合格したときは、受注者は、成果品を発注者に引き渡すものとする。

（契約金の支払い）

第11条 受注者は、前条の規定による検査に合格したときは、発注者に対し、契約金の支払いを請求する。

2 発注者は、前項の規定により受注者から適正な請求書を受領したときは、その日から起算して30日以内に契約金を支払わなければならない。

3 発注者が受注者の申し出により前金払をすることが適当と認めたときは、受注者は、契約金額の10分の3以内の金額（10万円単位とし、10万円未満は切り捨てる。）を請求することができる。

4 発注者は、前項の規定により受注者から適正な請求書を受領したときは、その日から起算して14日以内に前払金を支払うものとする。

（部分払）

第12条 受注者は、発注者が部分払をすることが適当と認めたときは、その指示する部分が完了した後、発注者にその旨届け出て検査を受けなければならない。

2 部分払の額は、前項の検査に合格した部分に対する契約金相当額の10分の9以内とし、その支払方法は前条第2項の定めによる。

3 前払金の支払いを受けた場合に、部分払を受けることができる金額は、第1項の検査に合格した部分に対する契約金額相当額に対する契約金額の割合を、当該前払金の支払額に乗じて得た金額を前項の規定による部分払相当額から減じた額とする。

（瑕疵担保）

第13条 発注者は、契約の履行に瑕疵があるときは、受注者に対して相当の期間を定めて損害の賠償を求めることができる。

2 前項の規定による瑕疵の損害賠償の請求は、契約の履行の完了日から1年以内に行わなければならない。ただし、その瑕疵が受注者の故意又は重大な過失により生じた場合には、請求を行うことのできる期間は10年とする。

3 発注者は、契約の履行の完了の際に瑕疵があることを知ったときは、第1項の規定にかかわらず、その旨を直ちに受注者に通知しなければ、当該瑕疵の損害賠償の請求をすることはできない。ただし、受注者がその瑕疵があることを知っていたときは、この限りでない。

4 第1項の規定は、契約の履行の瑕疵が発注者の指示により生じたものであるときは適用しない。ただし、受注者がその指示の不相当であることを知りながらこれを通知しなかったときは、この限りでない。

（契約の解除等）

第14条 発注者は、受注者の責めに帰する理由により、履行期限内に業務委託を完了する見込みがないと認められるとき、受注者がこの契約に違反したときその他契約の目的を達することができないと認められるときはこの契約を解除することができる。受注者が契約の解除を申し出たときも同様とする。

2 前項の規定により契約を解除する場合において、第11条第4項の規定により前金払をしたときは、受注者は、前金払額に前払金を支払った日から返還の日までの日数につき法定率によって算定した利息を付けて、発注者に返還しなければならない。

3 発注者は、第1項の定めにより契約を解除し、これによって損害を受けた場合は、契約金額の

100分の10以上の額を違約金として受注者から徴収することができる。

- 4 発注者は、業務委託が完了しない間は、第1項の定めによるほか必要がある場合には契約を解除することができる。この場合において、前金払をしたときは第2項の定め（利息に関する定めを除く。）を準用する。
- 5 前項の定めによる契約の解除により受注者に損害を生じたときは、発注者はこれを賠償しなければならない。この場合の賠償額は、発注者と受注者とが協議して定めるものとする。
- 6 発注者が第1項又は第4項の定めにより契約を解除した場合に、一部完成した成果品で発注者の検査に合格したものがあるときは、当該成果品を発注者の所有とすることができる。この場合において、発注者は、当該成果品に対する契約金の相当額（前金払をしたときは、前金払額を控除した額）を受注者に支払わなければならない。

（秘密の保持）

第15条 受注者は、業務委託の実施により知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

（契約外の事項等）

第16条 この契約に定めのない事項及びこの契約について疑義を生じたときは、発注者と受注者とが協議して定める。